

＜松江市斎場に関するサウンディング型市場調査＞
質問回答

No	質問内容	回答
1	駐車場に増築されている車庫棟の図面を提供して頂けないでしょうか。	車庫棟の図面は所在不明のため、車庫棟の設計概要書について提供可能です。 ※追加資料1のとおり
2	建物外壁の改修で、各所タイルや躯体のクラック・欠損部の修繕費を算出するために、現地で詳細な調査（修繕箇所等の数量）が必要です。提案書提出までに、現地見学会とは別日で現地調査は可能でしょうか。	現地調査は可能です。 調査希望日時については、事前に調整させていただきます。
3	既存施設の備品リストを提供して頂けないでしょうか。	備品リストは提供可能です。 ※追加資料2のとおり
4	実施要領 P5 の 5 (5) サウンディングの実施について、「参加者は3名としてください」と記載があります。複数社グループでのエントリーとなる場合や、単独で応募の場合でも、専門的な見地から有意義なヒアリングが行えるよう、参加者の上限は8～10名程度を上限にさせて頂くことは可能でしょうか。ご教示の程、よろしくお願いいたします。	サウンディングの参加人数については、3名までとしておりますが、複数社グループによるエントリーとなる場合を考慮し、上限を10名までに変更します。 様式2エントリーシートの3ヒアリング参加予定者氏名の欄について、参加人数にあわせて枠を増やして人数についてお知らせください。
5	既設斎場の火葬件数、光熱水費について、令和7年度の既設斎場における火葬件数、光熱水費についてご教示ください。 (1)火葬件数 (2)水道料金：水道料金総額(円/年)、年間使用量、基本料金(円/年)、従量料金(円/年) (3)電気料金：電気料金総額(円/年)、契約電力(デマンド)、基本料金(円/年)、電力量料金(円/年)、使用電力量(kWh/年)、電力料金単価(円/kWh)、燃料費調整額(円) (4)LPG 料金：LPG 料金総額(円/年)、年間使用量、料金単価	令和7年度の松江市斎場の火葬件数、光熱水費の実績は以下のとおりです。 (1)火葬件数 大人 2,294 件、小人 3 件、死産児 22 件、術後等肢体 26 件、焼骨 205 件 (2)水道料金：水道料金総額 398,330 円/年、年間使用量 1,139.1 m ³ 基本料金、従量料金の内訳は不明 (3)電気料金：電気料金総額 4,957,408 円/年、使用電力量 157,054kWh/年 契約電力(デマンド)、基本料金、電力量料金、電力料金単価、燃料費調整額の内訳は不明 (4)LPG 料金：LPG 料金総額 14,482,779 円/年、年間使用量 42,527.9 m ³ /年 料金単価は変動するため不明

6	提案するにあたり、想定されている再整備完了時期についてご指示願います。	再整備事業の完了時期は未定ですが、事業が順調に進んだ場合、事業者選定までに2年間、工期は最長で3年間を見込んでいます。
7	「再整備に必要な財源は限られており」と記載がありますが、想定されている事業費(目安等)についてご指示願います。	1 調査の目的において、「再整備に充当可能な財源は限られており」とあるのは、国の交付金や起債等の有利な借入財源がないという意味で記載しており、現時点で事業費の目安は持っておりません。
8	「優良と認められる提案については、サウンディングへの参加実績を……加点対象」と記載がありますが、想定されている加点の割合についてお教え願います。	業者公募における評価の加点対象とすることにつきまして、具体的な評価項目、配点及び加点割合については選考委員会で定めるものと考えており、現時点では決まっておりません。
9	提案の評価基準について、公表していただけないでしょうか。	サウンディング型市場調査における提案については評価基準は定めておりません。 「整備費と将来的な維持管理・修繕費を合わせたライフサイクルコストの縮減や施工時の施設利用者への影響をできる限り抑えることが必要」としており、これに資する提案となっているのかを評価することになります。
10	運営手法等により、火葬件数を問題なく受け入れられる提案であれば各ケースごとの炉数変更は可能でしょうか。	将来的な火葬需要から1日あたり最大12件の火葬件数を想定しており、運営手法の見直しや火葬炉の性能向上等により受け入れ可能であれば、炉数を変更した提案も可能とします。
11	様式4 提案書について単体企業ではなく、グループでの提出は可能でしょうか。	単体企業又はグループのどちらでも提案可能です。
12	提案書の提出方法及び必要部数についてご指示願います。	提案書につきましては、当課のメールアドレス宛にデータにより提出をお願いします。 また、ヒアリング時に追加資料等がある場合は紙ベースで5部提出してください。

13	サウンディング型市場調査のエントリーシートについて、グループで申込みする場合は 1 社あたりの参加者を最大 3 名として参加企業数に応じた人数で参加することは可能でしょうか（例 3 社の場合は 9 名）	No4 に同じ 複数社グループによるエントリーとなる場合を含め、上限を 10 名までとします。 様式 2 エントリーシートの 3 ヒアリング参加予定者氏名の欄について、参加人数にあわせて枠を増やして人数についてお知らせください。
14	新斎場建設位置ですが工事中の会葬者との動線等を考慮して庭園側での検討も候補としてよろしいでしょうか。	建替の場合の建設位置については、斎場の敷地内であれば駐車場側と庭園側のどちらを候補としても問題ありません。
15	工事期間中の会葬者および従業員用駐車場は何台必要でしょうか。	従業員用で最大 10 台、利用者が多いときで現在の駐車場が満杯となる時があるため、合わせて現状と同じ概ね 50 台程度は必要と考えます。
16	外部倉庫（除雪車庫）は解体してもよろしいでしょうか。 また解体した場合、仮車庫としてどのくらいのスペースが必要でしょうか。	車庫棟の解体は可能です。 除雪車両 1 台（2 t ダンプ）と軽自動車 1 台分の駐車スペースと排土板等の保管スペースが必要となります。（50 m ² 程度）
17	様式 5 事業費調書のセル A19 ガス設備改修工事とはどのような工事を想定しているのでしょうか。ご教示願います。	施設内の火葬炉設備のガス配管の付け替え等の工事を想定しています。
18	様式 5 事業費調書のセル A21 火葬炉付帯設備工事計とは、どの項目の計となるのでしょうか。	「火葬炉付帯設備工事計」とは、炉室改修工事、受変電設備改修、ガス設備改修工事、非常用発電機工事の合計になります。
19	様式 5 事業費調書のセル A22 火葬炉設備工事費合計とは、どの項目の合計となるのでしょうか。セル A15 に火葬炉設備工事計とありますが、違いはありますでしょうか。ご教示願います。	「火葬炉設備工事費合計」は「火葬炉設備工事計」と「火葬炉付帯設備工事計」の合計になります。 「火葬炉設備工事計」は、火葬炉設置工事、火葬炉解体工事、仮設火葬炉工事、仮設火葬棟工事の合計になります。
20	様式 5 事業費調書のケース 4 にて、火葬炉解体工事費は既存施設解体工事費に含める形でよろしいでしょうか。実際の解体工事は一式解体となります。	既存施設解体工事費に含めて計上していただいてかまいません。

21	実施要領5 サウンディングの手続き(4)提案書等の提出について、サウンディング調査はグループでの提案としてもよろしいでしょうか。また、その場合、参加者は各社3名ずつとさせていただきますでしょうか。	No4 に同じ 複数社グループによるエントリーとなる場合を含め、上限を10名までとします。 様式2 エントリーシートの3ヒアリング参加予定者氏名の欄について、参加人数にあわせて枠を増やして人数についてお知らせください。
22	実施要領5 サウンディングの手続き(4)提案書等の提出について、提案書の提出は郵送、または持参と考えてよろしいでしょうか。	No12 に同じ 提案書につきましては、当課のメールアドレス宛にデータにより提出をお願いします。 また、ヒアリング時に追加資料等がある場合は紙ベースで5部提出してください。
23	令和7年2月に「一般社団法人火葬研」から整備方針に係る整備計画作成業務委託報告書が出されているように、今後の基本構想、基本計画、発注者支援業務等を外注委託する予定はありますでしょうか。	基本構想、基本計画の作成業務については、情報収集の状況によっては、業務委託も検討したいと考えております。 事業者選定に係る発注者支援業務等については、業務委託を予定しています。
24	サウンディング参加時の提案書について、現時点では、事業スキームや事業内容が確定しておらず、またコンソーシアムの組成についても具体検討に至っておりません。そのため、今回提出いたします提案書につきましては、当社が現時点で想定する担当業務の範囲に基づく内容とさせていただきます。なお、提案内容につきましては、今後の事業方針の整理や社会情勢の変化、事業条件の見直し等により変更となる可能性がございます。	ご提案いただく内容につきましては、実施要領に記載しております項目の一部分でありましても、幅広く情報を収集するため受付させていただきます。
25	今後、事業方針や事業概要がある程度具体化した段階で、民間事業者向けの説明会の開催を希望いたします。 説明会は、民間企業への個別説明・ヒアリングではなく、参加希望の企業が一堂に会する機会を設けていただけると、コンソーシアム組成に向けた地元企業との意見交換や調整をより円滑に進められるものと考えます。	今後の事業の進め方につきましては、近年、火葬場を整備された先進地の事例を参考としながら、各制度の事務手続きに沿って進めてまいります。 その中で、ご要望の件につきましても検討してまいります。